

令和8年度

小中一貫校 南アルプス市立小笠原小学校 グランドデザイン

楡形中学校区小中学校教育目標 ～義務教育9年間で目指す人物像～

『楡形から、世界に羽ばたき未来を拓くあやめっ子』

校訓 「あかるく かしこく たくましく」

教育目標 「自分を大切にし、他者を大切にする」子どもの育成

- 山梨県学校教育振興計画
- 第4期教育振興基本計画

めざす子ども像

- 1 労をいとわず働く子
- 2 自分を明るく表現できる子
- 3 進んで学ぼうとする子
- 4 思いやりがあり、礼儀正しい子
- 5 健康でたくましい子

- 第2次南アルプス市教育振興プラン

めざす学校像

- 1 明るく・楽しく・活気がみなぎる学校
- 2 全ての子どもの個性が尊重される学校
- 3 礼儀・規律正しい学校
- 4 きれいに整備された学校

めざす教師像

- 1 子どもへの深い愛情をもつ教職員
- 2 教育（仕事）に対する使命感と情熱をもつ教職員
- 3 相互の理解と和がもてる教職員
- 4 学級・学年・学校経営感覚に富んだ教職員
- 5 報連相（報告・連絡・相談）が徹底できる教職員
- 6 保護者・地域と積極的に信頼関係づくりを行う教職員

学校経営と運営の基本

「持続可能な社会」の創り手の育成

～一人一人が「主語」となる学びを通じ、多様な他者と協働して未来を拓く学校～

○広い視野で「つながり」を理解する力

目に見えないところで世界の問題や未来の環境とつながっていることに気づく力

- ・環境のつながり
- ・社会のつながり
- ・多角的思考

○価値観を共有し、協力する態度

異なる意見を持つ他者と対話し、納得解を見つけ出す姿勢

- ・多様性の尊重
- ・協働性
- ・コミュニケーション

○「自分事」として捉え、行動を変える力

知識を「知っている」状態から『「行動」へ移す』こと

- ・主体性
- ・意思決定
- ・変容

重点項目

☆『チーム担任制』の推進

- ・授業や生徒指導、保護者対応を分担・協働
- ・多様な大人と接する機会を創出
- ・教科担任制、合同授業を導入
- ・「チーム会議」を定例化

☆『余白』の創出

- ・行事の目的を明確化し、その内容、時期を再検討
- ・授業の一部をモジュール学習化

☆『特別支援教育』の推進

- ・ICT 機器を標準的なツールとして日常化。
- ・「校内支援チーム」の機能強化
- ・空き時間教員の柔軟な対応
- ・互いの特性を学び合い、自分たちで環境を調整